

2018年10月16日

三井化学株式会社

高機能不織布 国内増設設備の運転開始について

～需要拡大に対応、衛生材料事業の更なる強化～

三井化学株式会社（所在：東京都港区、社長：淡輪 敏）は、紙おむつ市場の需要拡大に対応するため、名古屋工場及びサンレックス工業株式会社（三井化学 100%子会社、社長：湯浅 浩志）で高機能不織布の設備増設を進めてまいりましたが、2018年10月より営業運転を開始しましたのでお知らせ致します。

【設備増設の概要】

増設場所	三井化学 名古屋工場 (名古屋市南区)	サンレックス工業株式会社 (三井化学 100%出資、三重県四日市市)
対象製品	柔軟性に優れた高機能不織布	柔軟性と伸縮機能に優れた高機能不織布
増設能力	15,000 トン/年	6,000 トン/年
着工時期	2016年4月	2016年7月



名古屋工場新設備建屋



サンレックス工業新設備建屋

当社は長期経営計画において、ヘルスケア事業をモビリティ、フード&パッケージングとともにターゲット事業領域の一つとして位置づけております。その中で、ヘルスケア事業のひとつである不織布事業については、紙おむつメーカーのアジア展開に対応して、日本及びアジアへ高機能不織布を供給し、更なる事業拡大を図ることを目指しています。

アジアの紙おむつ市場では、紙おむつ普及率の向上、及び中国の一人っ子政策の緩和等により、堅調に需要が拡大しております。また昨今、特に高品質なプレミアム紙おむつ市場が急拡大しており、紙おむつメーカーは増産体制を強化しております。

名古屋工場で増設した高機能不織布は、柔軟性の高い不織布です。一方、サンレックス工業で増設した高機能不織布は、柔軟性と伸縮機能に優れた不織布で、いずれも従来のスパンボンド製造技術に当社独自の技術を加えた改良プロセスを採用したものです。また、増設後の当社不織布の生産能力は、海外を合わせ 103,000 トン/年となります。今回の増設により、当社の高機能不織布の供給体制がより一層拡充され、当社はプレミアム紙おむつの更なる高品質化と幅広い用途展開を進めます。

三井化学は今後ともお客様への安定供給を果たしていくとともに、多様化するニーズに的確に対応すべく、当社技術を駆使した新たな高機能不織布の開発を進め、ソリューション・プロバイダーとして、世界の人々の QOL (Quality of Life) 向上に貢献してまいります。

以上